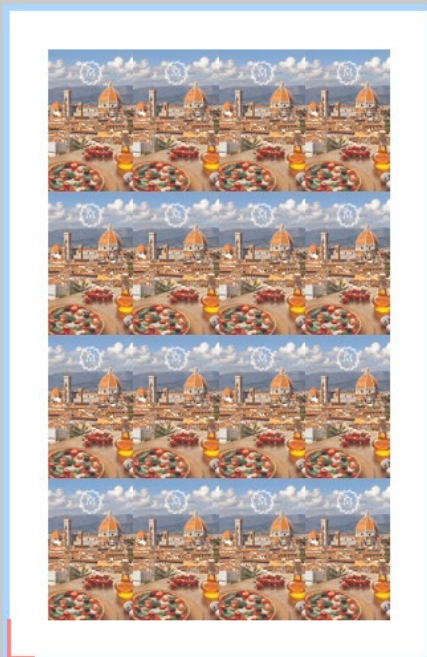
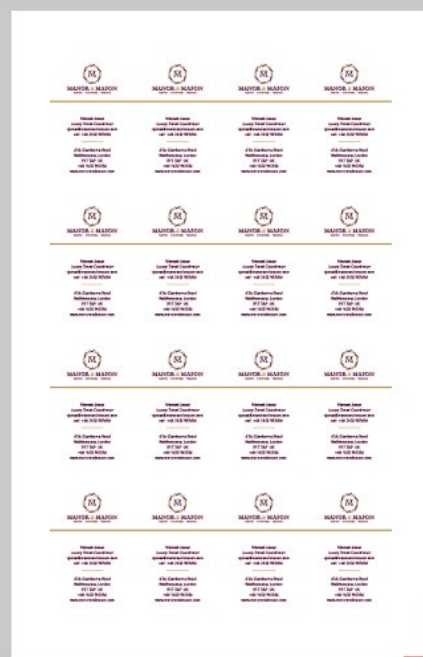


手順：

マルチアップジョブ を印刷する



Sheet 1 - Front
[Default Media](#)



Sheet 1 - Back
Default Media

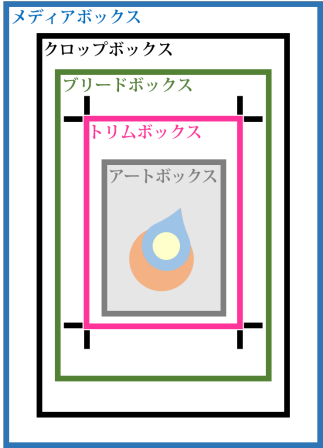
手順：マルチアップジョブを印刷する

機能概要

Fiery® Impose は、面付けプロセスを合理化および自動化し、制作を効率化するサーバーベースの面付けオプションです。ギャングアップまたはマルチアップ面付けタイプは、一般的には名刺、はがき、チケット、クーポンの印刷に使用されます。

Fiery Impose のレイアウト設定を面付けテンプレートとして保存して、Fiery Hot Folders、仮想プリンター、サーバープリセット、Fiery JobFlow を使用して今後のジョブの面付けおよび送信を自動化することができます。

Fiery Impose には、ソースファイルのプロパティ、用紙サイズ、自動化要件などの考慮事項に応じてマルチアップジョブのレイアウト構成を最適化する複数のワークフローが用意されています。



仕上がりサイズ設定の PDF ボックス

マルチアップ面付けレイアウトワークフロー：

	定義と用途	自動化に関する考慮事項
仕上がりサイズ：クロップボックスに合わせる	<p>Fiery Impose がページのクロップボックスを自動的に検出します。ユーザーはブリード値を指定でき、Fiery Impose はクロップボックス内部のトリミングマークを動かして、擬似ブリードを作成します。</p> <p>このワークフローは、バリアブルデータ印刷ジョブに唯一対応する仕上がりサイズであるため、パーソナライズしたジョブに適しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> テンプレートは、行と列の数が指定された固定レイアウトになっています。仕上がりサイズは、入力する PDF に基づいています。 Fiery Hot Folders、仮想プリンター、サーバープリセット、Fiery JobFlow などを使用した自動化ワークフローに対応しています。 この仕上がりサイズのテンプレートを利用するにあたり、サーバー上に Fiery Impose のライセンスは必要ありません。
仕上がりサイズ：ユーザー定義	<p>この仕上がりサイズ設定では、PDF 書類の 1 ページ目に定義されているトリムボックスとブリードに基づいて仕上がりサイズを最初に検出し、デザイナーの意図を忠実に反映します。</p> <p>その後、ユーザーは仕上がりサイズとブリード値を希望どおりに手動で指定することができます。</p> <p>このワークフローは一般的な用途に推奨されます。また、ジョブに含まれている PDF ボックスのサイズに関係なくオペレーターが固定の仕上がりサイズおよびレイアウトを生成する必要がある場合（たとえば、異なるページサイズが混在するジョブなど）にも推奨され</p>	<ul style="list-style-type: none"> 入力した PDF ジョブの仕上がりサイズは、テンプレートの仕上がりサイズと一致する必要はありません。拡大縮小オプションを使用する場合、入力ジョブはテンプレートの仕上がりサイズに合うように調整されます。 テンプレートには固定の仕上がりサイズと用紙サイズが指定されています。 Fiery Hot Folders、仮想プリンター、サーバープリセット、Fiery JobFlow などを使用した自動化ワークフローに対応しています。*

手順：マルチアップジョブを印刷する

	<p>ます。オペレーターは拡大縮小オプションを使用して、希望する仕上がりサイズに製品を確実に合わせるすることができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Fiery JobFlow Base では自動的に部数を計算できます。
仕上がりサイズ：トリムボックスに合わせる	<p>PDF 書類の 1 ページ目に定義されているトリムボックスとブリードボックスを Fiery Impose が自動的に検出するため、その値を変更することはできません。これらの値、選択した用紙サイズ、その他のレイアウト設定に基づいて、Fiery Impose が最適なレイアウトを自動的に計算します。</p> <p>「トリムボックスに合わせる」仕上がりサイズを使用すると、ギャングアップテンプレートや関連する自動化ワークフローの数を減らすのに役立ちます。それは、同じ Fiery Impose テンプレートで、所定の用紙サイズに最適なレイアウトを任意の書類サイズから動的に生成できるからです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • テンプレートには固定の用紙サイズが指定されています。これは、同じ用紙サイズを使用するマルチアップジョブを自動化するのに役に立ちます。 • Fiery Hot Folders、仮想プリンター、サーバープリセット、Fiery JobFlow などを使用した自動化ワークフローに対応しています。* • Fiery JobFlow Base では自動的に部数を計算できます。
ギャングアップ反復に合わせる	<p>このウィザードワークフローは、ギャングアップ反復レイアウトと「クロップボックスに合わせる」および「ユーザー定義」の仕上がりサイズ設定にのみ使用できます。このウィザードでは、ユーザーが指定した仕上がり商品数に基づいて部数を自動的に計算し、設定します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 「クロップボックスに合わせる」または「ユーザー定義」テンプレートに対応するレイアウトの作成に使用できます。部数はテンプレートに保存できません。

手順：マルチアップジョブを印刷する

ゴール

次のワークフローを使用して名刺用の面付けレイアウトを作成して保存する

1. 「クロップボックスに合わせる」ワークフロー
[バリアブルデータ印刷手順ガイド](#)を参照してください。
2. 「ユーザー定義」ワークフロー
3. 「トリムボックスに合わせる」ワークフロー
[Fiery Impose による用紙サイズに応じたギャングアップの自動化](#)手順ガイドを参照してください。
4. 「ギャングアップ反復に合わせる」ワークフロー

その他のリソース

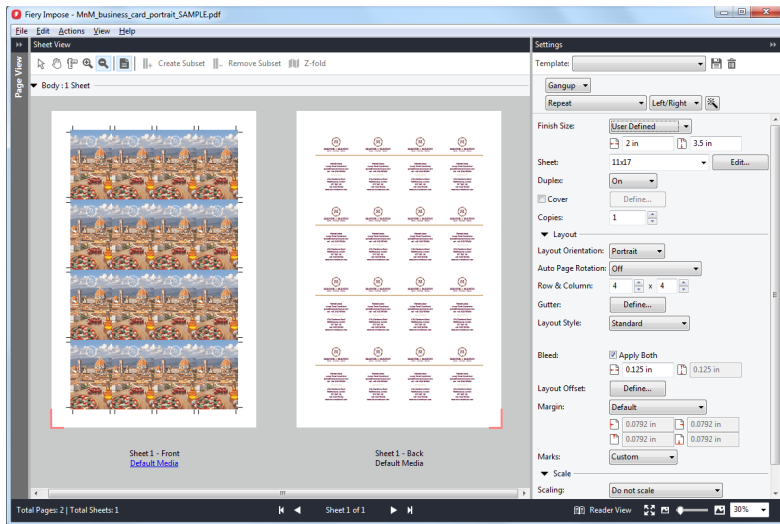
その他のソフトウェアダウンロードやトレーニングリソースなどについては、[Fiery オンラインリソース](#)を参照してください。

はじめに

- Fiery Command WorkStation® 6 以降を起動し、Fiery FS350/FS350 Pro を起動している少なくとも 1 つの Fiery サーバーに接続してください。
- Command WorkStation を起動中のコンピューターで Fiery Impose のライセンスをアクティベートするか、デモモードをアクティベートします。
- Fiery Impose の 30 日間無料試用版を申し込むには、<http://fiery.efi.com/impose/freetrial30> にアクセスします。
- サンプルファイル **MnM_business_card_portrait_SAMPLE.pdf** を Fiery サーバーの待機キューに送ります。ファイルを Command WorkStation の待機リストにドラッグするか、Command WorkStation 内のインポートメニューオプションを使用してください。
- 印刷を開始する前にプリンターと Fiery サーバーのキャリブレーションを行ってください。

*設定およびライセンス要件に関する注意事項

- テンプレートは、Fiery FS200 Pro, FS300 Pro および FS350 Pro Fiery サーバー上の仮想プリンターとサーバープリセットで動作します。
- Fiery Hot Folders と Fiery JobFlow を使用するには、これらのワークフローを実行するマシン用に Fiery Impose のライセンスを取得する必要があります。
- 仮想プリンターとサーバープリセットを使用するには、Fiery Impose のライセンスをアクティベートし、Fiery Command WorkStation の最新バージョンを Fiery サーバーにインストールする必要があります。



「ユーザー定義」ワークフロー

「ユーザー定義」ワークフローでは、トリムボックスとブリード値が検出されます。ブリード値は自動的に表示され、Fiery Impose にて手動で指定することができます。

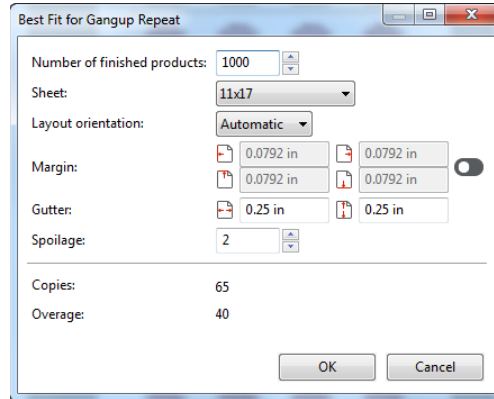
1. Command WorkStation の待機リストで **MnM_business_card_portrait_SAMPLE.pdf** ファイルを選択します。右クリックして **Impose** を選択します。
2. 設定ペインで製品インテントとして**ギャングアップ**を選択します。ギャングアップの下で**反復 > 左/右**を選択します。
3. 仕上がりサイズで**ユーザー定義**を選択します。
4. シートで **11x17** または **A3** を選択します。
5. 両面で**オン**を選択します。
6. レイアウト領域で次のオプションを設定します。
 - a. レイアウト方向：**縦**を選択します。
 - b. 行と列：**4 x 4**
 - c. とじしろ：**定義**をクリックします。任意のフィールドに **0.25 インチ**と入力し、**すべてに適用**をクリックします。シート表示ペインで、各カードの間に **0.25 インチ**の空白がとじしろとして表示されます。**OK** をクリックして閉じます。

Command WorkStation の環境設定でユーザー定義オプションがデフォルトに設定されている場合、ジョブを Fiery Impose で開いたときに、ブリード値は自動的に設定されています。

- d. マークのドロップダウンメニューを開き、**定義**をクリックします。
 - i. トリムタブで**トリミングマーク印刷**チェックボックスを選択します。
 - ii. **マークをおもて面のみ印刷**チェックボックスを選択し、**OK** をクリックして閉じます。


7. テンプレートの横の**保存**アイコンをクリックして、この新しいテンプレートを今後も使用できるように保存します。この例では、**BusinessCard_UserDefined** と入力し、**OK** をクリックします。
8. テンプレートメニューに **BusinessCard_UserDefined** が表示されるようになります。
9. 名前を付けてジョブを保存します。
10. ファイル > 保存の順にクリックします。
11. **別名保存** でジョブ名を **BusinessCards** に変更します。 保存場所ドロップダウンメニューで「待機」を選択します。完了したら、**OK** をクリックします。
12. Fiery Impose を終了するには、**ファイル > 終了**の順にクリックするか、隅にある赤い **X** をクリックします。
13. 新しいジョブが待機リストに保存されます。部数を変更した後、印刷用に送信します。


大半のジョブを自動化するジョブプリセットの作成方法や、仮想プリンターまたは Fiery ホットフォルダーにジョブチケット仕様（面付けテンプレートなど）を設定する方法については、[Fiery ツールを使用してジョブ送信を自動化する](#) の手順ガイドを参照してください。Fiery JobFlow Base ワークフローを使用すれば、自動化をさらに推進することができます。



「ギャングアップ反復に合わせる」ワークフロー

このワークフローは、単一のマルチアップ反復ジョブの制作に役に立ちます。ギャングアップ反復でのみ動作し、ユーザーの部数を計算します。

1. Command WorkStation の待機リストで **MnM_business_card_portrait_SAMPLE.pdf** ファイルを選択します。右クリックして **Impose** を選択します。
2. 設定ペインで製品インテントとしてギャングアップを選択します。ギャングアップの下で反復 > 左/右を選択します。
3. 仕上がりサイズでユーザー定義を選択します。
4. シートで 11x17 または A3 を選択します。
5. 両面で「オン」を選択します。
6. ギャングアップ反復に合わせるボタン  をクリックします。
7. 「ギャングアップ反復に合わせる」について、次の設定を割り当てます。
8. 仕上がり商品数を 1000 に設定します。
9. シートを 11x17 または A3 に設定します。
10. レイアウト方向を自動に設定します。
11. 廃棄数を 2 に設定します。
12. 「OK」をクリックします。
13. 部数が自動的に計算されます。65 になるはずです。

- 
14. ファイル > 保存の順にクリックします。
 15. 別名保存でジョブ名を **BusinessCards** に変更します。 保存場所ドロップダウンメニューで「待機」を選択します。完了したら、「OK」をクリックします。
 16. **Fiery Impose** を終了するには、ファイル > 終了の順にクリックするか、隅にある赤い「X」をクリックします。
 17. 新しいジョブが待機リストに保存され、印刷できるようになります。



EFI fuels success.

We develop breakthrough technologies for the manufacturing of signage, packaging, textiles, ceramic tiles, and personalized documents, with a wide range of printers, inks, digital front ends, and a comprehensive business and production workflow suite that transforms and streamlines the entire production process, increasing your competitiveness and boosting productivity. Visit www.efi.com or call 650-357-3500 for more information.



Nothing herein should be construed as a warranty in addition to the express warranty statement provided with EFI products and services.

The APPS logo, AutoCal, Auto-Count, Balance, BESTColor, BioVu, BioWare, ColorPASS, Colorproof, ColorWise, Command WorkStation, CopyNet, Cretachrom, Cretaprint, the Cretaprint logo, Cretaprinter, Cretaroller, Digital StoreFront, DirectSmile, DocBuilder, DocBuilder Pro, DockNet, DocStream, DSFdesign Studio, Dynamic Wedge, EDOX, EFI, the EFI logo, Electronics For Imaging, Entrac, EPCount, EPPhoto, EPRegister, EPStatus, Estimate, ExpressPay, FabriVU, Fast-4, Fiery, the Fiery logo, Fiery Driven, the Fiery Driven logo, Fiery JobFlow, Fiery JobMaster, Fiery Link, Fiery Navigator, Fiery Prints, the Fiery Prints logo, Fiery Spark, FreeForm, Hagen, Inktenzity, Inkware, LapNet, Logic, Metrix, MicroPress, MiniNet, Monarch, OneFlow, Pace, Pegasus, Pegasus Vision, PhotoXposure, PressVu, Printcafe, PrinterSite, PrintFlow, PrintMe, the PrintMe logo, PrintSmith, PrintSmith Site, PrintStream, Print to Win, Prograph, PSI, PSI Flexo, Radius, Remoteproof, RIPChips, RIP-While-Print, Screenproof, SendMe, Sincolor, Splash, Spot-On, TrackNet, UltraPress, UltraTex, UltraVu, UV Series 50, VisualCal, VUTEK, the VUTEK logo, and WebTools are trademarks of Electronics For Imaging, Inc. and/or its wholly owned subsidiaries in the U.S. and/or certain other countries.

All other terms and product names may be trademarks or registered trademarks of their respective owners, and are hereby acknowledged.

© 2018 ELECTRONICS FOR IMAGING, INC. ALL RIGHTS RESERVED. | WWW.EFI.COM